

NEWS 火災場所連絡ミス? - 西日本防災システム

2014 04 21

こんな火災が発生していました。先月、東京・北区で住宅4棟が焼け、この火災で86歳の女性が亡くなりました。この火災で、消防の連絡ミスで消防隊は火元の住宅とは別の場所に到着し、消火活動を開始するのが5分間程、遅れていたことがわかったそうです。東京消防庁の発表によりますと、この日の午後1時頃、近所の住人が火災に気付き、現場近くにある消防署の出張所に火災通報をしました。通報を受けた消防士長(57)は火元の住宅の住所を確認したうえで、別の消防士(20)に対し、本部に伝えるよう口頭で指示しましたが、消防士はその後、本部に誤った住所を伝えてしまったということです。

そのため、最初に到着するはずだった消防隊は火災現場近くの消火栓ではなく、100メートルほど離れた消火栓に到着し、放水が5分間ほど遅れたようです。また、現場には別の消防隊も向かっていましたが、この消防隊が放水を開始したのは、本来の放水が始まっているべき時間からおよそ3分ほど遅れていたということです。東京消防庁は、消防隊の到着の遅れと女性の死亡との因果関係はないとしています。ですが、関係職員について厳正に処分したいとコメントしているそうです。連絡ミス?? 皆さんはどう思われますか?



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 